

競技運営規程

1. 大会運営 本大会の運営は本規程による。
2. 競技規則 2019年 (社)日本ホッケー協会 6人制ホッケー規則による。
3. 試合時間 試合時間はジャッジ席で管理する。
試合時間は前半10分・後半10分とし、前半と後半の間に2分間の休憩をおく。
但し、小学生は前半7分30秒・後半7分30秒とし、前後半の間に5分間の休憩をおく。
前後半終了間際に与えられたペナルティーコーナーはその完遂まで続けられ、完遂後のアンパイアのホイッスルをもって既定時間プラスアルファの終了とする。
4. 競技方法
 - 1) リーグ方式またはトーナメント方式で行う。
 - 2) 規定の時間内に勝敗が決しないときは、延長戦を行わず、試合終了後ただちに「5. シュートアウト戦」に定めるシュートアウト戦(以下、SO戦)を行い、勝敗を決する。
5. シュートアウト戦 (SO戦)
 - 1) 両チームの主将は、自チーム内の登録済み選手の中から3名の選手(以下、シューター)と1名のゴールキーパーを指名する。(退場処分を受けている選手は除く。)
 - 2) 両チームの主将のトスにより先攻後攻を決める。3名ずつのシューターにより交互に攻防を1巡(計6本)行い、得点の多いチームを勝者とする。
※シューター全員がシュートしていなくとも、勝敗が決した時点でSO戦を打ち切る。
 - 3) 上記の方法によって勝敗が決しないときは、「サドン・デス方式(両チームが同数のシュートを行った中で最初にリードしたチームを勝者とする方式)」により再SO戦を行う。その際は前述の先攻後攻を入れ替え、プレー不能な選手を除き、最初に指名された選手にて行う(ただし、シュート順は変えてもよい)。
6. 選手の交代
 - 1) 選手の交代は、ジャッジ席の管理の下でその試合にエントリー選手により行う。
 - 2) 各チームは、試合中随時どの選手も交代できる。ただし、ペナルティーコーナーが与えられている間は、交代することはできない。(負傷した守備側のゴールキーパーは除く。)
 - 3) 一時退場させられた選手に対する交代は、当該選手の退場時間中は許可されない。
 - 4) 選手の交代は、ジャッジ席にその意を伝えた後、ジャッジ席前方のセンターライン付近で行われる。その際、時間の停止は行われない。ただし、ゴールキーパーおよび負傷した選手の交代については、審判員の管理下で行われる。
7. その他
本規定に定めのない事項または不測の事態が発生した場合は大会本部の指示に従うこと。